



2011年11月16日

フリースケール・セミコンダクタ・ジャパン株式会社

フリースケール、テレヘルス・アプリケーション向け 「ホーム・ヘルス・ハブ」ソリューションを発表

シームレスなコネクティビリティとデータ収集機能を備えた医療機器の開発を加速する
リファレンス・プラットフォーム

フリースケール・セミコンダクタ・ジャパン株式会社(本社:東京都目黒区下目黒 1-8-1、代表取締役社長:ディビッド M. ユーゼ)は、リモート・アクセス医療機器の開発を迅速かつ容易にするホーム・ヘルス・ハブ(HHH)リファレンス・プラットフォームを発表しました。ヘルス・データを収集し、ネットワークに接続し、安全に共有することで、優れた健康管理機能が実現します。

HHH リファレンス・プラットフォームは、フリースケールの i.MX 28(アイドット・エムエックス 28)アプリケーション・プロセッサと ZigBee®/サブギガヘルツ RF(1GHz 以下)トランシーバをベースとしています。セキュアな Wi-Fi/Ethernet 接続を通じて、タブレット、スマートフォン、およびパソコンなどディスプレイを備えたリモート・デバイスで医療用リモート・ユーザ・インタフェース(UI)オプションが利用可能になります。このプラットフォームは、ZigBee やサブギガヘルツ RF、USB、Bluetooth、Bluetooth Low Energy を備え、医療用デバイス・プロファイルによって、血圧計や血糖値計、体重計、血中酸素濃度計などのヘルスケア機器との接続を行います。

世界保健機関(WHO)によると、慢性疾患患者は世界で 8 億 6000 万人に上り、医療費の 75~85%は慢性疾患管理が占めています。慢性疾患に苦しむ患者の多くは 65 歳以上の高齢者であり、この年齢層は、アメリカ国勢調査局の推計では 2030 年までにアメリカ人口の 19%、約 7210 万人に達すると予想されています。

フリースケールのグローバル・ヘルスケア・チームのマネージャであるスティーブン・ディーンは、次のように述べています。「世界的に進行する高齢化により、高齢者を持つ家族にとって、安心感をもたらす新しい技術やツールへの期待が高まっています。また、できる限り多くの人々の生活の質を改善するため、世界の遠隔地域や人口急増地域にヘルスケア・サービスへのアクセスを提供することが求められています。フリースケールの新しいホーム・ヘルス・ハブ・リファレンス・プラットフォームは、ネットワーク対応の医療/ヘルスケア機器の開発を簡素化し、増大するニーズへの対応を促進します。」

フリースケールの HHH リファレンス・プラットフォームは、各種機能を包括的に実現しているため、ネットワーク対応医療製品設計に活用することで、迅速な開発と市場投入が可能となります。また、ヘルスケア機器やユーザ・インタフェース機器向けに、事前に検証済みの安全なコネクティビリティを実現するハードウェアやソフトウェア・コンポーネントを提供します。



MedApps の創設者兼 CEO である Kent Dicks 氏は、次のように述べています。「MedApps は、市場で確かな実績を持つ技術を通じて、患者のモニタ・データを携帯電話のネットワークに接続することで、患者自身が救急室に移動しなくても看護師が対処できる医療システムを実現しています。このようなテレヘルス(遠隔医療)ソリューションは極めて効果的です。」

HHH リファレンス・プラットフォーム・ソフトウェアは、コンティニュー規格に準拠しており、血圧計、血中酸素濃度計、体重計といったコンティニュー認証医療機器との統一性・互換性を実現します。また、このプラットフォームは、Microsoft HealthVault と接続することも可能です。Microsoft HealthVault は、プライバシーとセキュリティが強化されたオンライン・データ・リポジトリで、ユーザは健康情報の整理・保存・共有を行うことができます。

HHH リファレンス・プラットフォームは、低消費電力 i.MX28 アプリケーション・プロセッサ(ARM9 コア・ベース)を用いたアグリゲータ/ゲートウェイ・ボードで構成されます。ヘルスケア機器との様々な接続インターフェースや、リモート・ユーザ・インターフェース機器向けの有線/無線接続に対応しています。また、フリースケールの MC12311 サブギガヘルツ・ワイヤレス・プラットフォームをベースとする緊急アラーム・センサも含まれており、個人緊急通報システム(PERS)機能を実現します。さらに、リファレンス・プラットフォームを補完するべく、ボード・サポート・パッケージ(Linux®および Windows® Embedded Compact 7)などのソフトウェアやサンプル・コードも付属しています。

Microsoft の Windows Embedded 部門 EMEA(ヨーロッパ、中東およびアフリカ)担当マーケティング・ディレクターである Lorraine Bardeen 氏は、次のように述べています。「さまざまなヘルスケア・エコシステムの中で、Windows Embedded は信頼された技術プラットフォームとの連携を特長としています。今回のフリースケールとの協業により、Microsoft の描くインテリジェント・システムの進化がさらに推進され、医療機器メーカーや医療機関はネットワークを通じて医療データを最大限に活用できるようになります。」

価格と供給

HHH リファレンス・プラットフォームには、アグリゲータ/ゲートウェイ・ボード、緊急アラーム・センサ、クイック・スタート・ガイド、ケーブル類、ソフトウェアが含まれます。HHH リファレンス・プラットフォームの市場投入に関して、フリースケールは、Digi International とパートナー関係を締結しています。Digi International より提供される iDigi テレヘルス・アプリケーション・キットは、65,800 円(税別)で販売予定です。www.digi.com/hhh の Web サイトをご覧ください。Digi International は、i.MX ポートフォリオに関する経験を豊富に持ち、顧客に合わせた SoM(システム・オン・モジュール)や設計サービスを提供しています。詳細については、www.freescale.com/homehealthhub の Web サイトをご覧ください。

Digi International のセールスおよびマーケティング部門 EMEA/日本/アジア担当副社長である Frederic Luu 氏は、次のように述べています。「ネットワーク対応の医療機器は、重要な患者データへのリアルタイム・



アクセスを実現し、医療の質を高めます。フリースケールとの協業により、ネットワーク対応医療機器の開発を促進できることをうれしく思います。」

フリースケール・セミコンダクタについて

フリースケール・セミコンダクタ(NYSE:FSL)は、自動車用、民生用、産業用、およびネットワーク・マーケット向け組み込み用半導体のデザインと製造の世界的リーダーです。フリースケールは、テキサス州オースチンを本拠地に、世界各国で半導体のデザイン、研究開発、製造ならびに営業活動を行っています。詳細は、<http://www.freescale.com> (英語)、または <http://www.freescale.co.jp/> (日本語)をご覧ください。

報道関係者からのお問い合わせ先： コーポレート・コミュニケーション本部
谷川 雅子
Tel: 03-5437-9128
Email: rt559@freescale.com

広報代行(共同 PR) 井口、國時
Tel: 03-3571-5258
Email: maki.kunitoki@kyodo-pr.co.jp

Freescale ならびに Freescale のロゴマークは、米国、またはその他の国におけるフリースケール社の商標、または登録商標です。文中に記載されている他社の製品名、サービス名等はそれぞれ各社の商標です。

©2011 フリースケール・セミコンダクタ・インク